

令和5（2023）年度 資源評価調査状況報告書（新規拡大種）

クマエビ紀伊水道・大阪湾

対象水域	紀伊水道・大阪湾	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、和歌山県水産試験場、徳島県立農林水産総合技術支援センター水産研究課、大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センター
------	----------	-------	---

(1) 調査の概要

- ・各府県は分布・回遊調査および生物情報収集調査を実施
- ・本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲量、努力量、体長組成等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・機構では各県データを取りまとめ
- ・和歌山県では、標本漁協における1998～2023年9月の月別漁獲量、標本船の2011漁期年（12月～翌年3月）12月～2022漁期年3月の月別CPUE、漁獲物の2011年1月～2023年11月の頭胸甲長・体重・生殖腺重量、2018～2023年の季節別水深別分布状況データを収集済み
2023年10月以降の同様のデータを収集中
- ・徳島県では、標本漁協別における2005～2023年9月の月別漁獲量と出漁隻数を収集済み
2023年10月以降の同様のデータを収集中
- ・大阪府では、標本漁協における1984～2023年10月の月別漁獲量と出漁隻日数を収集済み
2023年11月以降の同様のデータを収集中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
- (2) 年齢・成長： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
- (3) 成熟・産卵： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
- (4) 被捕食関係： 令和3年度資源評価調査報告書を参照
(https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/trends_2021_09.pdf、2023年12月閲覧)

(4) 備考

- ・資源評価調査報告書については令和3年度に公表済み (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2021/trends_2021_09.pdf、2023年12月閲覧)、令和6年度に更新予定